



教育福祉常任委員会(健康安全科学センター)



総務常任委員会(電力中央研究所)

## 常任委員会による所管施設等調査



都市整備常任委員会(三浦縦貫道Ⅱ期区間)



生活環境常任委員会(三春コミュニティセンター広場管理立坑)

# ペーパーレス会議の本格運用開始

**招集議会**  
5月17日に平成30年招集議会を開催し、会期を平成31年4月30日までの349日間としました。招集議会では、副議長や議会内役職者の選出等を行いました。また、提出された議案3件について



**ペーパーレス会議**  
平成29年9月定例会議から、ペーパーレス会議システム及びタブレット形式でも使用できるパソコンを導入し、本会議、常任委員会、特別委員会等において紙資料を併用しながら審査を行ってきました。今年度からは、本格的にペーパーレス会議の運用を開始し、データ化した資料により審査を行ってまいります。(一部の資料及び傍聴用資料は、引き続き紙資料となります。)

**6月定例議会 一般質問**  
大村 洋子 議員 日本共産党  
核兵器廃絶は世界の流れ 市長も署名を！

**6月定例議会**  
は、全会一致で可決または同意しました。  
**6月定例議会**  
6月定例議会は、6月6日から6月22日までの17日間で開催しました。6月6日、7日の本会議においては、10名の議員が登壇し、市長、教育長に対して一般質問を行いました。そして平成30年度一般会計補正予算をはじめとする議案15件については、所管の各常任委員会に付託され、審査を行いました。最終日の6月22日には1名の議員から反対討論がありました

が、議案15件を全て可決しました。  
請願6件については、2名の議員から賛成討論がありました。採決の結果、5件は賛成少数で不採択となりました。また、請願第5号は採択され、それに伴い提出された「教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書」を全会一致で可決しました。  
このほか、6月13日、15日には、各常任委員会で、市が所管する施設等へ足を運び、市の事業や現場の取り組みを調査しました。



核兵器廃絶に向けたシンボルの原爆ドーム

**問** 「平和首長会議」に上地市長も賛同しているか。  
**答** 私も賛同している。  
**問** 被爆者が直接訴えている国際署名に、なぜサインしないのか。  
**答** 政府がしっかりと見極め、アプローチも含め、きちんと整理するべきだ。  
**問** もっと主体的に自分の意見を表明してもいいのでは。  
**答** 核によって守られているという事実の上で私が署名をして何かする任



藤野 英明 議員 無会派

来年新設する不妊専門相談センターについて

問 不育症の相談も受けるべきだ。

答 実施する。

問 毎日相談を受けられる体制とすべきだ。

答 平日は毎日可能だが、専門医の確保が難しい土日は、講演会などの中で個別相談を受けるなど対応を工夫していく。

問 先輩当事者の体験を伺う機会や、当事者会の開催や交流の場も設けるべきだ。

答 大切なことであり、実施に向けて検討したい。

問 治療の長期化に伴う

小室 卓重 議員 無会派

一時預かりの拡充をふるさと納税について

問 愛らんに専用の相談室が必要と考えるが、新たな愛らんに相談室がないのはなぜか。

答 愛らんに聞き取りの結果、必要ないと判断した。

問 一時預かりは、待機児対策、虐待予防になることから、ウエルシテイの託児室を利用して実施してはどうか。

答 ぜひ検討していきたい。

問 ふるさと納税記念品のうち、ミリタリースー

嘉山 淳平 議員 無所属みらい

津波ハザードマップの情報少なすぎる

問 本市の津波ハザードマップは他自治体と比較すると、情報量が乏しい。

避難施設や津波一時避難場所、防災活動拠点、避難すべきルート、踏切な

どの情報量を充実させたマップとして見直すべき。

答 津波から身を守るための方法は、いち早く高台に避難すること。その意味で最適なものであると考える。

問 東日本大震災における大川小学校の判例は、行政の災害対策のあり方を考えさせられる判決。

避難路を検討するための充実したハザードマップ作成は当然のことではないか。

答 単にどこまで津波が来るか、ここからが標高

関沢 敏行 議員 公明党

新生児聴覚検査に公費助成を検討

問 新生児聴覚検査の受診率が高止まり状態なのは、検査が保険適用外で費用を全額自己負担しなければならぬことが考えられる。困窮世帯等に財政的支援を行ってはどうか。

答 新生児聴覚検査は子どもにとって重要で、全新生児に受診してもらいたい。公費負担も考えながら前向きに検討する。

問 うわまち病院で行っている病児病後児保育センターの利用者は本庁地区が中心で、地域に偏りがある。西地域の方の利便性向上を図るために市

病児病後児保育センター

ねぎしかずこ 議員 日本共産党

世界の平和の劇的な流れに沿う市政に転換を

問 田浦中学校などのそばにヘリコプターが飛来する場外離着陸場の設置

は強行させないことを防衛省に求めよ。

答 自衛隊施設の運用で



津波ハザードマップ比較

公共施設の今後を集中して議論しています

フローとストックという考え方があります。市の仕事という、予算ばかりが目立がちです。こうした予算などのお金の流れをフローといいます。一方で、公共施設など一度建てたら何年も使う財産をストックといいます。こうした公共施設は、最初にかかる建設費の他に、将来の運営費や維持費に加え、いずれは修繕や解体も見込んでおく必要があります。そのために、

議会はファシリティ・マネジメント (FM) を市に求めてきました。そこで、市は計画を作ることになったので、議会も2月に「FM戦略プラン審査特別委員会」を立ち上げ、これまで計3回にわたり市の素案に対し質疑を行いました。今後、必要に応じて市に提言などを行います。

あり、強行するなどという権限はないが、きちんと理解が得られるよう、求めていく。

問 米朝首脳会談も間近だ。北東アジアの対話による平和構築が劇的に進むとしていく中、基地の存在ありきの市政から転換するという展望を持つ時期ではないか。

答 外交努力が大事だが、外交の後ろ盾が防衛

力であり自衛隊の存在である。核の抑止力の中でしか世界が安定していき、現状の横須賀においてはそれはできない。

※このほかに、小林伸行議員、加藤ゆうすけ議員、小幡沙央里議員、井坂直議員が一般質問を行いました。(紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2回までの掲載となります。)

ワークショップ形式で議会報告会を実施!

4月20日と22日に議会報告会を市内3箇所にて開催しました。

今回は新しい取り組みとして、第1部の議員からの議会報告に加え、第2部では参加者にグループにわかれてもらい、ワークショップ(意見交換)を実施しました。「横須賀を魅力的なまちにするには」というテーマを置き、ワークショップを行ったことにより、これまでの質疑応答とは違い、様々な切り口からまちづくりのご意見をいただくことができました。

「おもしろい取り組みなので次回は知人にも声をかけたい」「和やかな雰囲気たくさん意見を出すことができた」といったご感想もいただきました。引き続き、多くの市民の皆さんのご意見をいただける議会報告会にしていきたいと思ひます。



議員からの議会報告



ワークショップの様子



# 予算決算常任委員会

## 補正予算を含む全議案を可決

6月定例議会では、予算議案及びその関連議案の計3件について、4つの分科会で詳細な審査を実施しました。

まず、議案第79号 平成30年度横須賀市一般会計補正予算(第1号)については、地域コミュニティ支援事業、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業、(仮称)佐原2丁目公園野球場整備事業に関して、また議案第81号 横須賀市市税条例中改正については、改正内容に係る周知方

法等に関して、さらに議案第83号 横須賀市病院事業条例中改正については市内病院における再診請求義務化の影響等に関して、様々な角度から活発な議論が交わされました。

# 常任委員会の審査から

の報告を受け、採決の結果、平成30年度横須賀市一般会計補正予算及び横須賀市病院事業条例中改正については賛成多数で、横須賀市市税条例中改正については全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

委員長 鈴木真智子  
副委員長 大野忠之  
このほか、議長を除くすべての議員が委員となります。

# 総務常任委員会(分科会)

## ポर्टマーケット検証結果に対し多くの議論

分科会では、平成30年度補正予算議案のうち本分科会への送付分と、横須賀市市税条例中改正についての2議案等について審査しました。委員からは、中小企業の固定資産税の特例措置による税収の減額見込みなどについて質疑がありました。

常任委員会では、職員給与

条例中改正について審査しました。この条例改正により扶養手当が減額となる職員の割合や人事院勧告の改正理由な

どについて質疑が交わされ、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願・陳情では、陳述人から意見を聴取した後、質疑が交わされました。その結果、請願2件は賛成多数で不採択に、陳情2件は各会派の意見が一致せず審査終了となりました。

また、一般報告では、来年3月に閉店するポर्टマーケットの事業撤退に至る検証結果がシティサポートよすから提出され、「店

舗経営のノウハウがな いまま事業 をスタート し、抜本的 な改善もできずに経営 を継続した ことが最大の問題点」とした総括 を受け、多くの質問がありました。



来年3月に閉店するポर्टマーケット

委員長 矢島真知子  
副委員長 松岡和行 青木秀介 二見英一 鈴木真智子 嘉山淳平 伊関功滋 加藤真道 井坂直 小室卓重

# 生活環境常任委員会(分科会)

## 損害の賠償に関するあっせん申し立てなどを審査

補正予算に関わる分科会審査では、地域コミュニティ支援事業に対する助成金の交付決定に対し、町内会館の建設を要望している町内会の数や申請があった町内会館の建設完了時期などについて質疑が交わされました。

意見が交わされました。

特に質疑が集中した、東京電力福島原子力発電所の事故による焼却処理費用の賠償に関するあっせんの申し立てに対しては、あっせん申立て事例の損害賠償割合が低いことに対する所見、和解に係る本市の目標、和解額を減らさないための戦略及び理論武装の必要性、他自治体と連携を行う必要性、裁判ではなく原子力損害賠償紛争解決センターへあっせん申立てを行うこととなった理由など、活発な議論が交わされました。

その後の常任委員会においては、7件の議案が審査され、浄化槽保守点検業者の登録に関する条例中改正に対しては、市内業者の業務圧迫の可能性及び円滑な事務執行の必要性について、町の区域の変更に対しては、当該区域で予定されている建

(委員長 本石篤志)

築戸数、町内会に加入する際の円滑な支援の必要性について質疑や



焼却灰の処理費用が懸案となっている南処理工場

委員長 本石篤志  
副委員長 高橋英昭 井口一彦 青木哲正 石山満 葉山直 小林伸行 伊藤順一 ねぎしかずこ 山本けんじゅ

# 教育福祉常任委員会(分科会)

## シニアパス事業の見直しについて多くの意見

常任委員会では、中学校完全給食の実施にあたり新たにつくられる給食センターの設計等を行う事業者の選定等に関して、諮問するための委員会を設置する条例案について、審査を行いました。

委員からは、アレルギー対応食

における代替食導入の可能性、地域住民への説明会の必要性、要求水準書策定における委員会意見の反映方法などについて質疑が交わされ、採決の結果、全会一致で原案どおり可決しました。

一般報告では、シニアパス事業の見直しについて報告を受けました。

同事業については、当初予算案で対象年齢の引き上げと自己負担の増額が提案されましたが、議会からは3月定例議会の附帯決議において、激変緩和措置の検討を要望していました。

これを受け、

現行の本人負担額から大きく変動しないようパス本体価格の引き下げについてバス事業者と今後協議していくことなどが報告されました。



現在発売されているはつらつシニアパスの見本

委員からは、事業効果を検証する必要性、これまでの見直し協議の経過、バス事業者との協議における市の姿勢などについて、多くの質問や意見が出されました。

(委員長 西郷宗範)

委員長 西郷宗範  
副委員長 伊東雅之 田中洋次郎 田辺昭人 板橋衛 加藤ゆうすけ 角井基 杉田惺 大村洋子 藤野英明

# 都市整備常任委員会(分科会)

## (仮称)佐原2丁目公園野球場整備事業で議論

平成30年度一般会計補正予算に関わる審査では、(仮称)佐原2丁目公園野球場整備事業における防球ネット設置の工法変更による増額補正の審査を行いました。

防球ネット設置は、セメントミルク工法で施工することになっていましたが、試し掘りの結果、隣接する矢部川の既設護岸背面の裏込石の幅が予定より広く、この工法で施工した場合、矢部川にセメントが流出する恐れがあり、工法を変更するための増額補正でした。

委員からは、

矢部川に隣接する施工箇所のうち工法変更をしない理由や、川から距離がある箇所を工法変更



整備工事を行っている佐原2丁目公園野球場

する理由について質疑がありました。また、請願第6号「吉井1丁目開発・第Ⅲ期計画以降の計画に対する3,000平方メートル以上の許可基準の適用について」の審査では、意見陳述、理筆者からの所見を聞き、当該開発行為の許可判断を平成30年3月議会の請願第3号で付された意見にある検討結果が出た後に行う考えの有無や、同検討結果の議会への報告などについて質疑が交わされました。その後採決の結果、全会一致で不採択と決定しました。

(委員長 渡辺光一)

委員長 渡辺光一  
副委員長 関沢敏行 南まさみ 大野忠之 土田弘之宣 小幡沙央里 永井真人 長谷川昇 山口道夫 はまのまさひろ



平成30年招集議会

招集議会では、議会内役職者の選出と常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行いました。

議長あいさつ

市議会として、議会改革の第2ステージと位置付けた「通年議会」の導入、「政策検討会議」及び「広報広聴会議」の設置、そして「横須賀市議会災害時業務継続計画」の策定から1年が経過しました。この1年間の実績を評価・検証し、「開かれた議会」「政策提案型議会」及び「議会の機動力向上」のため、より良い制度設計につなげていきたいと考えています。



議長 木下 憲司 (留任)

副議長あいさつ

この度、第92代副議長に就任いたしました鈴木真智子です。二元代表制の一翼を担う議会として、広報広聴機能を拡充した「議会報告会」の実施や会派を超えて政策提案を検討する「政策検討会議」など進化し続ける議会として、さらなる「開かれた議会」を目指し、議長を補佐し精進してまいります。皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。



副議長 鈴木真智子

その他の議会内役職者

- 監査委員 杉田 惺(留任)、土田弘之宣(留任)
● 神奈川県内広域水道企業団議会議員 伊関功滋
● 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 嘉山淳平

議会運営委員会

- 委員長 大野忠之
● 副委員長 関沢敏行
南まさみ、西郷宗範、石山 満、葉山 直、永井真人、小林伸行、高橋英昭、加藤真道

平成30年6月定例議会 審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, 会派 (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 市政同友会, 研政, 日本共産党), 無会派 (小室卓重, はまのまひる, 藤野英明, 山本けんじゅ), and rows for 79, 83, 93.

\* その他議案12件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。\* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】 平成30年6月22日現在

- 自由民主党 田辺昭人 大野忠之 青木哲正 青木秀介 木下憲司(議長) 松岡和行 渡辺光一 西郷宗範 南まさみ 井口一彦 田中洋次郎
公明党 板橋 衛 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい 永井真人 嘉山淳平 矢島真知子 葉山 直 小幡沙央里 加藤ゆうすけ
研 政 伊関功滋 長谷川昇 小林伸行 高橋英昭 角井 基
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤真道 杉田 惺 山口道夫
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

意見書

Table with columns 件名, 結果. Items: 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について (可決), 教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について (可決).

請願・陳情

Table with columns 件名, 結果. Items: くりはまみんなの公園を横浜F・マリノスのトレーニング施設として整備する場合の代償措置について (不採択), 教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について (採択), 吉井1丁目開発・第Ⅲ期計画以降の計画に対する3,000平方メートル以上の許可基準の適用について (不採択), 災害時地域医療救護所の開設施設及び開設体制の改善について (不採択), FM戦略プラン策定における市民意見反映の場の設置について (不採択), 所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について (不採択), 神奈川最低賃金改定等に関する意見書の提出について (審査終了), 電動車いす利用者に対するタクシー券に代わるバス券の交付について (審査終了), 消費税増税中止を求める意見書の提出について (審査終了).

\* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記

市議会だよりを担当する「広報広聴会議」も今号より新しいメンバーとなりました。読んでくださる方の立場に立ち、市議会の現状を分かりやすくお伝えできるように皆で努力していきます。皆様に、ご愛読いただけると編集員一同うれしく思います。



9月定例議会のお知らせ

Table with columns 開催日, 会議名. Dates from 8月30日 to 10月9日. Meetings include 議会運営, 本会議, 予算決算常任, 教育福祉常任, 都市整備常任, 総務常任, FM戦略プラン審査特別, 予算決算理事会, 議会運営本会議.

\* 時間の記載がないものは10時開会です。\* 特別委員会については、日程が追加される場合があります。